

別添 7. 「アフガニスタン国人づくり  
プロジェクト(仮称)」に関する意見具申

---

平成 22 年 11 月 8 日

文部科学省大臣官房国際課  
国際協力政策室長 殿

農学知的支援ネットワーク (JISNAS)

運営委員長 田中



「アフガニスタン国人づくりプロジェクト (仮称)」に関する意見具申

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、農学知的支援ネットワーク (JISNAS) の運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、JISNAS は昨年 12 月より、「アフガニスタン国人づくりプロジェクト (仮称)」の形成に協力して参りましたが、同国の農学分野の人材育成に向けて、メンバー大学を取りまとめ、今後とも積極的に協力していく所存です。

その一環として、10 月 22 日に開催いたしました JISNAS 総会にて、本案件の概要をメンバー会員大学に説明したところ、留学生受入れに当たっての様々な意見がメンバー大学より出されましたので、下記のとおり意見具申いたします。「アフガニスタン国人づくりプロジェクト (仮称)」の形成・実施に当たっての参考としていただければ幸いです。

記

1. 大学の積極的な参加及び質の高い教育の提供を確保・維持するための方策

本案件は、我が国大学の修士課程に留学生として受け入れることを想定していると聞き及んでいます。アフガニスタン国の歴史的経緯、社会経済情勢、教育環境等を総合的に勘案すると、基礎学力、語学 (英語) 力等の水準は他国の留学生と比べて高くないことが推察されます。また、文化、宗教的な違いも大きく、同国からの留学生受入は、我が国における留学生受入の一般的なケースと比べて、受入大学側にとってかなりの業務負担が強いられると想定されます。このことは、アフガニスタンからの留学生を受け入れる大学の積極的な参加や質の高い教育の提供を制約する要因になると懸念されます。

本案件形成・実施に対する大学側の積極的な協力を得るとともに、留学生に質の高い教育を提供するためには、受入大学および指導教官への一定のインセンティブを付与するメカニズムの構築 (例: 入学前段階における各種手続き等のロジ支援、留学試験合格者に対する基礎学力向上のための事前研修の実施、留学生に対するチューターの配置及び研究費等の経費負担等) が必要と考えられます。このようなメカニズムの構築は、JICA が大学側に期待する「一定規模・継続的な受入」の促進にも寄与するものと考えられます。

平成 22 年 11 月 8 日

独立行政法人国際協力機構  
南アジア部長 殿  
人間開発部長 殿

農学知的支援ネットワーク (JISNAS)

運営委員長 田中 耕司



「アフガニスタン国人づくりプロジェクト (仮称)」に関する意見具申

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、農学知的支援ネットワーク (JISNAS) の運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、JISNAS は昨年 12 月より、「アフガニスタン国人づくりプロジェクト (仮称)」の形成に協力して参りましたが、同国の農学分野の人材育成に向けて、メンバー大学を取りまとめ、今後とも積極的に協力していく所存です。

その一環として、10 月 22 日に開催いたしました JISNAS 総会にて、本案件の概要をメンバー会員大学に説明したところ、留学生受入れに当たっての様々な意見がメンバー大学より出されましたので、下記のとおり意見具申いたします。「アフガニスタン国人づくりプロジェクト (仮称)」の形成・実施に当たっての参考としていただければ幸いです。

記

1. 大学の積極的な参加及び質の高い教育の提供を確保・維持するための方策

本案件は、我が国大学の修士課程に留学生として受け入れることを想定していると聞き及んでいます。アフガニスタン国の歴史的経緯、社会経済情勢、教育環境等を総合的に勘案すると、基礎学力、語学 (英語) 力等の水準は他国の留学生と比べて高くないことが推察されます。また、文化、宗教的な違いも大きく、同国からの留学生受入は、我が国における留学生受入の一般的なケースと比べて、受入大学側にとってかなりの業務負荷が強いられると想定されます。このことは、アフガニスタンからの留学生を受け入れる大学の積極的な参加や質の高い教育の提供を制約する要因になると懸念されます。

本案件形成・実施に対する大学側の積極的な協力を得るとともに、留学生に質の高い教育を提供するためには、受入大学および指導教官への一定のインセンティブを付与するメカニズムの構築 (例: 入学前段階における各種手続き等のロジ支援、留学試験合格者に対する基礎学力向上のための事前研修の実施、留学生に対するチューターの配置及び研究費等の経費負担等) が必要と考えられます。このようなメカニズムの構築は、貴機構が大学側に期待する「一定規模・継続的な受入」の促進にも寄与するもの